

第40回

The 40th Annual Conference  
of the Japanese Society of Cancer Nursing

日本がん看護学会学術集会

# サイエンスとアートで 紡ぐがん看護

## — 繙承と発展 —

2026年  
会期 2月21日[土]・22日[日]

会場 大阪府立国際会議場  
(グランキューブ大阪)

学術  
集会長  
荒尾 晴恵  
(大阪大学大学院医学系研究科)

大会HP  
<https://plaza.umin.ac.jp/jscn2026/>



がん体験者（患者・家族）の皆さんに  
現地参加していただけるプログラムを  
開催いたします

参加登録期間

2025年10月15日(水)～

「患者・家族参画プログラム」  
受付中！ 2月2日(月)まで



運営事務局 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番8号 日栄ビル703A あゆみコーポレーション内  
TEL: 06-6131-6605 E-mail: jscn40@a-youme.jp

# 日本がん看護学会 患者・家族参画プログラム

第40回という節目を迎える日本がん看護学会学術集会を、大阪にて開催する運びとなりました。テーマは「サイエンスとアートで紡ぐがん看護—継承と発展—」です。

がん看護には、エビデンス（根拠）に基づいた「サイエンス」の側面があります。しかし、それを患者さん一人ひとりに適用していく際には、患者さんの状況や思いに寄り添い、共に歩んでいくといった、看護師が経験の中で培ってきた「アート」の側面が欠かせません。このアートの部分は、これまで十分に言語化されてきませんでしたが、がん看護専門看護師や認定看護師をはじめとする専門家の実践や研究によって、少しずつ明らかにされつつあります。本学術集会では、このようながん看護のサイエンスとアートを共有し、議論するためのセッションを設けています。

がん看護をさらに発展させるためには、患者さんやご家族の視点を取り入れ、対話を深めていくことが不可欠です。そのためにも、ぜひがんを経験された方やご家族の皆さんにもご参加いただき、がん看護の「今」を共に分かち合えればと願っております。

関西万博の熱気をそのままに、大阪での学術集会にて皆さんとお会いできることを、心より楽しみにしております。

第40回日本がん看護学会学術集会 学術集会長 荒尾 晴恵

## 目的

がん患者・家族と看護師等が、がん看護・医療に関する情報や課題を共有、議論しつつ、共に学び、がん看護・医療や患者・家族支援の発展に貢献する。

## 参加者募集

- がん体験者（患者さん・ご家族）60名程度
- 参加費 3,000円

## おすすめプログラム

### オリジナルプログラム

- 看護レンジャー～その悩み、私たちに任せてください！～
- 知っておきたい！ 大阪府におけるがん対策の取り組み

### 第40回日本がん学術集会の聴講可能プログラム

● 会長講演	サイエンスとアートを紡いだがん看護
● 特別講演 1	がんと免疫
● 特別講演 2	がんが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～
● 特別講演 3	がん看護の専門性への期待
● 教育講演 1	ACP実践に必要な知識と近年の話題
● 教育講演 2	支持医療（がんサポートケア）：多職種における看護師の関わり
● 会長特別企画1	サイエンスとアートを紡いだがん看護 研究やガイドライン作成による看護実践変革への挑戦
● 会長特別企画2	サイエンスとアートを紡いだがん緩和ケア 成果と次世代への継承
● 会長特別企画3	サイエンスとアートを紡ぐ卓越したがん看護実践者の育成
● 海外招へい講演	カナダにおける高齢者のがん薬物療法マネジメント及びがんサバイバーへの経済的負担へのケア
● シンポジウム 1	業務を回すがん看護のなかでケアリングをどう育むか
● シンポジウム 4	今、あらためて考える「がんゲノム医療」における看護の役割 ～がん遺伝子パネル検査の現状と課題を踏まえて～
● ハ°ルデ° イスカッショ 1	がん治療後のリンパ浮腫ケアにおける効果的な多職種連携 ～がん看護×がんリハビリテーションによる新たな展望～
● ハ°ルデ° イスカッショ 2	小児・AYA世代に対するがん看護の今とこれから
● ハ°ルデ° イスカッショ 4	新たながん疼痛緩和のアプローチを考える
● ハ°ルデ° イスカッショ 5	何をしたら“ACP”なのか

### 社会連携委員会企画

- Nursing Science Café 2026 がん看護の現場から 生きると向き合う24時間
- 市民公開講座 2026 がん患者さん・ご家族のための自然災害への備えと発生時の対応